

C 様式

適合状況項目表  
(鉄道の駅と一体として利用される施設用)

法人名	
指定施設の名称	

1 経路	(1) 通路の構造	(ア)有効幅員は、200cm 以上		cm		
		(イ)縦断こう配及び横断こう配は設けない (構造上やむを得ない場合又は路面の排水のために必要な場合を除く)	適	否		
		(ウ)路面は、平坦で滑りにくく、水はけの良い仕上げ	適	否		
		(エ)両側は、転落を防ぐ構造	適	否		
	(2)高低差の有無		有	無		
	(3) 傾斜路の構造	(ア)有効幅員は、200cm 以上 (構造上やむを得ない場合100cm 以上)		cm		
		(イ)こう配は、5%以下(屋内又は構造上やむを得ない場合8%)		%		
		(ウ)横断こう配は設けない	適	否		
		(エ)高低差 75 cm以内ごとに、踏幅 150cm 以上の踊場	高低差		cm	
			踏幅		cm	
		(オ)両側に手すりの設置	有	無		
		(カ)路面は、平坦で滑りにくく、水はけの良い仕上げ	適	否		
		(キ)両側は、転落を防ぐ構造	適	否		
	(ク)公共用通路、通路又は踊場と識別しやすい構造	適	否			
	エレベーターの構造	(ウ)かごの床面は、車いすの転回に支障なく、滑りにくい仕上げ	適	否		
		(エ)かご内には、かごの停止予定階・現在位置表示装置の設置	有	無		
		(オ)かご内には、かごの停止階及びかご・昇降路の戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置	有	無		
		(カ)かご内に、戸の開閉等出入口の状況を確認できる鏡の設置	有	無		
		(キ)かご内の左右両面の側板に、手すりの設置	有	無		
		(ク)かご内及び乗降ロビーには、車いす使用者が利用しやすい位置に制御装置の設置	有	無		
	かご内の1以上の制御装置には、インターホンを設置	有	無			

	(ケ)かご内・乗降ロビーの制御装置の操作・階を点字その他の方法により表示	有	無		
	(コ)乗降ロビーの幅及び奥行きは、それぞれ 150cm 以上	幅	cm		
		奥行き	cm		
	(サ)乗降ロビーには、停止するかごの昇降方向を音声等により知らせる装置の設置	有	無		
	無の場合、かご内にかごの昇降方向を音声により知らせる装置の設置	有	無		
エレベーターの構造	(ア)かごは、間口 150cm 以上、奥行き 150cm 以上	間口	cm		
		奥行き	cm		
	(イ)出入口が複数あるエレベーターのかごは、間口 140cm 以上、奥行き 135cm 以上	間口	cm		
		奥行き	cm		
	開閉するかごの出入口を音声により知らせる装置の設置	有	無		
	(ウ)かご及び昇降路の出入口の有効幅は 90cm 以上		cm		
	(イ)に適合するエレベーターのかご及び昇降路の出入口の有効幅は 80cm 以上		cm		
	(エ)かご外にいる者とかご内にいる者が互いに視認できる構造	適	否		
	(オ)停止する階が 3 以上のエレベーターの乗降口には、到着するかごの昇降方向を音声により知らせる装置の設置	有	無		
	無の場合、かご内にかごの昇降方向を音声により知らせる装置の設置	有	無		
障害者、高齢者等の円滑な利用に適した構造のエスカレーターの有無	有	無			
(4) 段	段の構造	段の有無	有	無	
		有効幅員は 150cm 以上		cm	
		両側は転落を防ぐ構造	適	否	
		(2)回り階段としない	適	否	
		(3)手すりの設置	有	無	
		(4)表面は、滑りにくい仕上げ	適	否	
(5)段を容易に識別しやすいものとし、つまずきにくい構造	適	否			

(5) 視覚障害者誘導用設備	経路を構成する通路		有	無		
	(ア) 傾斜路の上端及び下端に近接する通路		有	無		
	(イ) 階段の上端及び下端に近接する通路		有	無		
	(ウ) エレベーターの乗降ロビーに設ける操作盤に近接する通路		有	無		
	(エ) 券売機に近接する通路		有	無		
	(オ) 改札口に近接する通路		有	無		
	(カ) 公共交通機関の施設又は道路と接続する部分		有	無		
	(キ) その他視覚障害者の注意喚起が必要な場所		有	無		
(6) 鉄道の駅及び道路と接続する部分の段差を設けない		適	否			
2 便所	(ア) 便所及び便房の出入口の有効幅員は、それぞれ 80 cm 以上	便所		cm		
		便房		cm		
	(イ) 便所及び便房の出入口の戸は、障害者、高齢者等が円滑に利用できる構造		適	否		
	(ウ) 便房の幅及び奥行きの内法は、それぞれ 200cm 以上 (構造上やむを得ない場合は、一方を 150cm 以上)	幅		cm		
		奥行き		cm		
	(1) 多機能トイレ	(エ) 便所及び便房の出入口に、車いす使用者の通行の妨げとなる段を設けない		適	否	
		否の場合、円滑に通過できる構造		適	否	
		(オ) 手すり付きの腰掛式便器の設置		有	無	
	(カ) 付属器具は円滑に利用できるもの (必要に応じて緊急通報装置の設置)		適	否		
	(キ) 床面は、滑りにくい仕上げ		適	否		
	(ク) 円滑に利用できる構造の洗面器の設置		有	無		
	(サ) 出入口に、多機能トイレである旨の表示		有	無		
	(シ) 小便器を設ける場合は、手すり付きの床置き小便器等の設置		有	無		
	(ス) オストメイト対応の水洗器具の設置		有	無		
(2)	(ア) 便所及び 1 以上の便房の出入口の有効幅員は、それぞれ 80cm 以上	便所		cm		
		便房		cm		

他のトイレ	(イ) 便所及び便房の出入口に、車いす使用者の通行の妨げとなる段を設けない	適	否	
	否の場合、円滑に通過できる構造	適	否	
	(ウ) 床面は、滑りにくい仕上げ	適	否	
	(エ) 手すり付きの腰掛式便器の設置	有	無	
	(オ) 円滑に利用できる構造の洗面器の設置	有	無	
	(カ) 小便器を設ける場合は、手すり付きの床置き式小便器等の設置	有	無	
3 乗合自動車停留所	(1) 車道に対する高さの標準は、15cm	cm		
	(2) 上屋及びベンチの設置	有	無	
4 タクシー乗降場	(1) 車道との境界部分の段差は、2cm	cm		
	車いす使用者が円滑に乗降できる構造	適	否	
	(2) 上屋の設置	有	無	
5 案内標示	分かりやすい場所に設置	適	否	
	障害者、高齢者等が、正確に認識できるように表示	適	否	
6 附帯設備	一般交通への支障	有	無	
	障害者、高齢者等が、円滑に利用できる構造	適	否	